



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

患者支援センター

地域医療連携室ニュース



2017 Vol.6

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



川崎幸病院外科・肝胆膵外科 新入職医師のご紹介

川崎幸病院 外科 肝胆膵領域の診療機能が充実します



川崎幸病院
外科副部長
原 義明

■ 前職

- ・ 昭和大学横浜市北部病院消化器センター講師

■ 認定資格等

- ・ 外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医
- ・ 肝臓学会認定肝臓専門医
- ・ 内視鏡外科学会技術認定医、評議員
- ・ 移植学会移植認定医
- ・ 肝胆膵外科学会評議員
- ・ 腹部救急医学会腹部救急認定医、暫定教育医、評議員
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 臨床研修指導医

2017年7月より川崎幸病院に勤務しております、原義明と申します。平成8年に新潟大学を卒業し、都立駒込病院で研修後、新潟大学消化器・一般外科に入局し肝胆膵・移植外科を中心に消化器外科診療の研鑽を積んで参りました。新潟大学では肝移植・門脈圧亢進症の外科治療にも従事しておりました。

平成23年に東京都立広尾病院外科・救命救急センター、平成27年より昭和大学横浜市北部病院消化器センターに勤務し、肝胆膵領域の内視鏡外科手術、救急診療も行っておりました。肝胆膵外科全般、内視鏡外科を専門としております。

ご承知の通り、肝胆膵領域の悪性疾患はいまだに難治性で予後の厳しい症例も少なくありません。膵癌領域では近年Border-line resectable症例に対して積極的に集学的治療が行われるようになりつつありますが、依然唯一の根治が期待できるのは外科切除のみです。このような症例を含め肝胆膵悪性疾患に対して、消化器内科と協力して手術を含めた最善の治療を行っていきたくと考えております。

肝胆膵領域は高難度症例も多いですが、安全・確実な手術を心がけております。また急性腹症でしばしば遭遇する急性胆嚢炎に対しては、ガイドラインに沿って早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術を積極的に行っております。常に個々の患者さんに応じた最善の治療を提供させていただき所存です。いつでもどうぞお気軽にご相談、ご連絡いただければと思います。

ご紹介いただきたい症例について

肝胆膵脾の腫瘍性疾患／閉塞性黄疸症例／胆嚢炎／胆管炎 など

門脈圧亢進症に対する手術治療（Hassab手術、脾摘、シャント手術）なども行います

外来担当:木曜日午前「第二川崎幸クリニック」



肝胆膵領域の診療機能が充実します



川崎幸病院
副院長(救急担当)
外科部長
後藤 学

4月より川崎幸病院消化器病センター外科部長職を引き継ぎました後藤と申します。消化器病センター外科は、11名の外科スタッフが川崎幸病院をはじめ第二川崎幸クリニック、さいわい鶴見病院の外科部門を担当しております。

この度7月から新メンバーとして原義明先生を迎えることができました。原先生は肝臓、胆嚢、膵臓を専門とする医師です。肝胆膵領域は消化器疾患のなかでもより専門性の高い領域であり、肝胆膵専門医の入職により、当科は食道・胃・大腸・肛門に加え肝胆臓を含めた消化器全般の治療を網羅する体制を整える事ができました。

今後も地域の皆様の期待に応えられるよう、より広範囲な疾患をより高度に、そして迅速に提供していけるよう尽力してまいります。

低侵襲手術センター2017年4月開設

低侵襲手術センターでは、単孔式や減孔式手術も含めたより整容性の高い鏡視下手術を行います。「患者さんに優しい外科治療の提供」をコンセプトとし、治療の質を向上させるとともに先進的な術式への対応も可能となりました。



外科専門外来担当表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
社会医療法人財団 石心会 第二川崎幸クリニック	午前	関川 浩司 太田 竜	関川 浩司 後藤 学	関川 浩司 小根山 正貴	原 義明	成田 和広 高橋 保正	下島 礼子 井上 貴博
	午後	太田 竜	関川 浩司 後藤 学	関川 浩司 小根山 正貴	後藤 学 山崎 将人	成田 和広	
	夕方		井上 貴博	富澤 悠貴	小根山 正貴	左近 龍太	

社会医療法人財団 石心会 第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1

代表 ☎ :044-511-1322

受診予約 ☎ :044-511-2112

診療時間

午前	9:00 ~ 12:00
午後	14:00 ~ 16:30
夕方診療	17:00 ~ 18:30

